

## 12 留学生が外国語を履修する方法

留学生は本学において勉学の成果を十分に上げるために、日本語および英語等の本学開講外国語科目を次の規定に従って履修する必要がある。以下に語学科目の履修方法を説明する。

登録はすべて学生自身の責任においてなされる。日本語科目の履修方法に誤りがある場合は、誤った履修科目の受講は不可能となり単位修得はできない。

### 1) 入学時実施の日本語能力判定試験によるレベル分け

#### [2018年度生]

日本語課程は、『日本語基礎前期』『日本語基礎後期』『日本語通常』の3つの課程で成り立っている。3月に実施される日本語能力判定試験を受け、その試験結果に従い日本語科目の履修課程が決まる。

『日本語基礎前期』または『日本語基礎後期』と判定された者は、表1の通り、日本語基礎科目の単位を修得しなければならない。なお、日本語基礎科目の単位を修得後、下記に示す留学生の語学科目（選択必修）の履修が必要となる。

『日本語通常』と判定された者は、日本語基礎科目の履修は不要となり、留学生の語学科目（選択必修）の履修が必要となる。

表1 学科別 履修科目・単位数一覧 2018年度入学生用

課程	科目	単位	合計
日本語基礎前期	日本語1	14	24
	日本語2	10	
日本語基礎後期	日本語2	10	10

#### [2017年度以前生]

日本語課程は、『レベル1』『レベル2』『レベル3』の3つの課程で成り立っている。入学ガイダンス期間中に実施される日本語能力判定試験を受け、その試験結果に従い日本語科目の履修課程が決まる。（ただし、入学年度に日本語科目を履修しなかった者、また、入学の次年度以降に長期間日本語科目を履修していない者は、必要に応じて日本語教育委員会による日本語能力判定を受け、その結果に従い日本語科目の履修方法が決まる。）

- (1) 試験によってレベル1と判断された者は、所属学科に拘らずレベル1からの履修を認める。
- (2) 試験によってレベル2と判断された者は、所属学科に拘らずレベル2からの履修を認める。
- (3) 試験によってレベル3と判断された者は、所属学科に拘らずレベル3からの履修を認める。

118留

117留

116留

## 2) 基礎科目として履修すべき単位数（すべて選択）

留学生の語学科目（選択必修）は、学科によって卒業要件単位数が異なる。各学科の履修方法は表2-1、2-2の通りである。なお、留学生が履修可能な外国語は母語および母国語以外の言語に限る。

表2-1 学科別 履修科目・単位数一覧 2018年度入学生用

学科	学年	科目	単位	合計
政治経済	118P	日本語3・4	10	10
欧米文化	118A	英語	8	16
		日本語3・4	4	
		日本語3・4または英語	4	
日本文化	118J	日本語3・4	10	14
		本学開講の外国語	4	
児童心理福祉	118C	日本語3・4	4	8
	118S	日本語3・4または英語	4	

表2-2 学科別 履修科目・単位数一覧 2017年度以前入学生用

学科	学年	科目	単位	合計
政治経済	117P~116P レベル1・2	日本語	10	10
	117P~116P レベル3		8	8
欧米文化	全学年	英語	8	16
		日本語	4	
		日本語または英語	4	
日本文化	117J~116J レベル1	日本語	20	20
		日本語	10	20
	117J~116J レベル2	日本語または本学開講の外国語	10	
		日本語	8	14
	117J~116J レベル3	本学開講の外国語	6	
		人間福祉学部	全学年	日本語
日本語または英語	4			

118留

117留

116留

### 3) 日本語課程の開設科目

表 3-1 日本語課程開設科目一覧 2018年度入学生用

課程	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	授業形態 (無印は講義)	備考 ○印週1回授業 ◎印週2回授業
			春学期	秋学期	その他			
基礎前期	日本語1(文字語彙)A	2	◎			1~		
	日本語1(文字語彙)B	2	◎			1~		
	日本語1(総合)A	2	◎			1~		
	日本語1(総合)B	2	◎			1~		
	日本語1(文章表現)	2	◎			1~		
	日本語1(口頭表現)	1	○			1~		
	日本語1(応用漢字)	1	○			1~		
	日本語1(文法)	1	○			1~		
	日本語1(アカデミックスキル)	1	○			1~		
	日本語1A	1		○		1~		
	日本語1B	1		○		1~		
	日本語1C	1		○		1~		
	日本語1D	1		○		1~		
基礎後期	日本語2(文字語彙)A	1	○	○		1~		
	日本語2(文字語彙)B	1	○	○		1~		
	日本語2(文章表現)A	1	○	○		1~		
	日本語2(文章表現)B	1	○	○		1~		
	日本語2(口頭表現)	1	○	○		1~		
	日本語2(試験対策)A	1	○	○		1~		
	日本語2(試験対策)B	1	○	○		1~		
	日本語2(日本語ICT)	1	○	○		1~		
	アカデミックジャパニーズ	2	◎	◎		1~		
通常課程	日本語3(文字語彙)A	1	○	○		1~		
	日本語3(文字語彙)B	1	○	○		1~		
	日本語3(文章表現)	1	○	○		1~		
	日本語3(口頭表現)	1	○	○		1~		
	日本語3(試験対策)	1	○	○		1~		
	日本語4(文字語彙)A	1	○	○		1~		
	日本語4(文字語彙)B	1	○	○		1~		
	日本語4(文章表現)	1	○	○		1~		
	日本語4(口頭表現)	1	○	○		1~		
	日本語4(試験対策)	1	○	○		1~		

表 3 - 2 日本語課程開設科目一覧 2017年度以前入学生用

課程	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	授業形態 (無印は講義)	備考
			春学期	秋学期	その他			
レベル0	日本語(基礎)1A	1			閉講	1~		※卒業要件外 ※卒業要件内 (自由選択科目として)
	日本語(基礎)1B	1			閉講	1~		
	日本語(基礎)2A	1			閉講	1~		
	日本語(基礎)2B	1			閉講	1~		
	日本語(基礎)2C	1			閉講	1~		
	日本語(基礎)3	1			閉講	1~		
レベル1	日本語1(基礎文法)A	1	○			1~		
	日本語1(基礎文法)B	1	○	○		1~		
	日本語1(表現文型)A	1	○	○		1~		
	日本語1(表現文型)B	1	○	○		1~		
	日本語1(総合)A	1	○	○		1~		
	日本語1(総合)B	1	○	○		1~		
	日本語1(調査・発表)A	1	○			1~		
	日本語1(調査・発表)B	1	○	○		1~		
	日本語1(文章表現)A	1	○	○		1~		
	日本語1(文章表現)B	1	○	○		1~		
レベル2	日本語2(文法)A	1	○	○		1~		
	日本語2(文法)B	1		○		1~		
	日本語2(総合)A	1	○	○		1~		
	日本語2(総合)B	1		○		1~		
	日本語2(調査・発表)A	1	○	○		1~		
	日本語2(調査・発表)B	1		○		1~		
	日本語2(文章表現)A	1	○	○		1~		
	日本語2(文章表現)B	1		○		1~		
	日本語2(音声表現理解)A	1	○	○		1~		
	日本語2(音声表現理解)B	1		○		1~		
レベル3	日本語3(調査・発表)A	1			閉講	1~		
	日本語3(調査・発表)B	1			閉講	1~		
	日本語3(ビジネス日本語)A	1			閉講	1~		
	日本語3(ビジネス日本語)B	1			閉講	1~		
	日本語3(小説で学ぶ)	1			閉講	1~		
	日本語3(ニュースで学ぶ)	1			閉講	1~		
	日本語3(ドラマで学ぶ)	1			閉講	1~		
	日本語3(創作で学ぶ)	1			閉講	1~		

117留

116留

#### 4) 日本語科目の履修方法

[2018年度生]

- ① 日本語 1、日本語 2、日本語 3、日本語 4 は表 4 の通り、履修課程によって、履修可能セメスターが異なる。

表 4 履修可能セメスター

課程	1 セメスター	2 セメスター	3 セメスター	4 セメスター
日本語基礎前期	日本語 1	日本語 1・2	日本語 1・2・3	日本語 1・2・3・4
日本語基礎後期	日本語 2	日本語 2・3	日本語 2・3・4	
日本語通常	日本語 3	日本語 3・4		

- ② 日本語 1・2 の科目単位は、卒業に必要な自由選択科目の単位として数えることができる。  
日本語 3・4 の科目単位は、卒業に必要な基礎科目群の単位として数えることができる。

[2017年度生以前]

- ① レベル 1、レベル 2、レベル 3 はステップアップ制である。
- ② 日本語能力をレベル 1 相当と判断された者は、レベル 1 の日本語科目のみ履修できる。  
レベル 1 の指定された日本語全科目（表 5 の単位数に従う）を修得後、レベル 2 の日本語科目を履修できる。
- ③ 日本語能力をレベル 2 相当と判断された者は、レベル 2 の日本語科目のみ履修できる。  
レベル 2 の指定された日本語全科目（表 5 の単位数に従う）を修得後、レベル 3 の日本語科目を履修できる。
- ④ 日本語能力をレベル 3 相当と判断された者は、レベル 3 の日本語科目のみ履修できる。ただし、2014 年度以前の留学生で、入学時にレベル 3 に判定された者は、レベル 3 の日本語 8 単位とレベル 2 の日本語の並行履修を認める。
- ⑤ 科目の A・B は A→B の順で両方とることが望ましい。
- ⑥ レベル 1、レベル 2、レベル 3 の科目単位は、卒業に必要な基礎科目群の単位として数えることができる。
- ⑦ 2015年度以降入学の政治経済学科留学生のうち、日本語能力をレベル 3 相当と判断された者は、レベル 3 の日本語科目を 8 単位履修すること。

※日本文化学科の日本語履修方法については、P. 118・119を参照のこと。

表 5 ステップアップ可能日本語科目単位数

学年	単位数
117留・116留	10単位

118留

117留

116留

## 5) 英語科目の履修方法

- (1) 欧米文化学科の留学生、欧米文化学科以外で英語科目を履修する学生は、英語プレイスメントテストを受験すること。
- (2) ECA (English Communication Arts) 科目の履修条件は、各学科の基礎科目群の表を参照のこと。
- (3) 英語科目を語学科目（選択必修）として履修する場合は、下記の通り履修すること。

### 〔政治経済学部〕

政治経済学部の留学生が英語科目を履修する場合は、自由選択科目として数えられる。

### 〔人文学部欧米文化学科〕

人文学部欧米文化学科の留学生は、下記の通り8単位を履修すること。英語科目を語学科目の選択必修として履修する場合は、ECA科目から、さらに4単位（選択必修）を履修すること。

表4-1 英語科目〔人文学部欧米文化学科〕

授業科目の名称	必修	選択	開講期			対象学年	備考
			春学期	秋学期	その他		
ECA(Speaking) I	2		◎	◎		1	○印週1回授業 ◎印週2回授業
ECA(Speaking) II	2		◎	◎		1	
ECA(Reading) I	1		○	○		1	
ECA(Reading) II	1		○	○		1	
ECA(英語基礎表現) I	1		○	○		1	
ECA(英語基礎表現) II	1		○	○		1	

118留

### 〔人文学部日本文化学科〕

人文学部日本文化学科の留学生が英語科目を語学科目（選択必修）として履修する場合は、下記の通り4単位履修することが望ましい。

117留

116留

表4-2 英語科目〔人文学部日本文化学科〕

授業科目の名称	選択	開講期			対象学年	備考
		春学期	秋学期	その他		
ECA(Speaking) I	2	◎	◎		1	2017年度入学生用 2016年度入学生用
ECA(英語基礎表現)	1	○	○		1	
ECA(英語基礎表現) I	1	○	○		1	
ECA(Reading) I	1	○	○		1	

### 〔人間福祉学部・心理福祉学部〕

人間福祉学部の留学生が英語科目を語学科目（選択必修）として履修する場合は、下記の通り4単位履修することが望ましい。

表4-3 英語科目〔人間福祉学部・心理福祉学部〕

授業科目の名称	選択	開講期			対象学年	備考
		春学期	秋学期	その他		
ECA(Speaking) I	2	◎	◎		1	2017年度以降入学生用 2016年度入学C・W用、2016年度入学D用
ECA(英語基礎表現)	1	○	○		1	
ECA(英語基礎表現) I	1	○	○		1	
ECA(Reading) I	1	○	○		1	

## 6) 語学科目以外に開設されている留学生用科目

表5 語学科目以外に開設されている留学生用科目

課程	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	備 考	○印週1回授業 ◎印週2回授業
			春学期	秋学期	その他			
基礎科目	基礎教育入門（書き方）	2	○	○		1～	春：AJ用 秋：P用	
キャリア 教育科目	ビジネス日本語対策講座 A	1	○			3～		
	ビジネス日本語対策講座 B	1		○		3～		

118留

117留

116留